

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 6年 3月 27日

事業所名 療育支援ルーム ボンディ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			プログラムの内容に合わせて、仕切りを開閉し、子ども達が集中・発散できる環境を整えている。	基準以上の広さは確保しているが、運動を行う際には少し狭さも感じる。そのため、屋外での活動も視野に入れ、子ども達が思いっきり体を動かすことができるように工夫していきたい。
	②	職員の配置数は適切である		○		配置基準を守り、運営することができる。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			パーテーションのレール等、小さな段差はあるがほぼバリアフリーになっており、肢体不自由児の在籍もないため不便さはない。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			毎週振り返りを行い、プログラムの改善点や児童の様子について全職員で話し合いを行っている。その際に、支援方針を共有している。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			日々の連絡帳や面談で伺った内容を活動に活かせるように努めている。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			評価表の結果を法人のホームページに公表している。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	外部評価の実施はしていない。	外部評価は実施していないが、面談時等保護者の意見を参考にし、活動内容の工夫をするように努めている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			関心のある研修や経験年数によって法人内、外部の研修を受けている。受けた研修は、報告書にまとめ他の職員への共有も行っている。	

適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			年2回の保護者との面談や日々の送迎、連絡帳、電話等にて情報収集をしている。また、学校からの評価表も参考にし、客観的且つ統一した支援ができるように努めている。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			標準化されているアセスメントシートを使用し児童の情報収集をしている。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			全職員で毎月、月案会議を開催しプログラムを立案している。また、当日の出欠状況によってはプログラム内容を変えて提供をしている。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			全職員で毎月、月案会議を行い、前月の振り返りも行うことで、プログラムが固定化されないように工夫をしている。また、同じプログラムでも出席児童に合わせてルールや提供の仕方を変えることで課題に沿った内容を提供できるように努めている。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			休日や長期休暇時等には、生活リズムが崩れないように活動の組み立て方に気をつけている。平日に関しては、限られた時間の中で児童の課題に沿った活動が提供できるように、状態像別に活動を分けてサービスの提供も行っている。	

⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○			児童の課題によっては個別活動で対応し細やかな計画を立案している。また、集団でも各児童の課題に沿った支援の提供ができるように、支援内容を工夫している。	
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	○			毎日支援前に一日の流れ、職員体制等の確認を行っている。また、前日の児童の様子を共有し、支援時に気をつけるようにしている。	
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			夕礼で児童や活動時の特記事項を共有を行っている。また、一週間ごとに振り返りを行っている。	
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			当日中に、特記事項の全体確認を行っている。また、ケース記録の記入は、次の日の午前中までに行っている。	
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			半年に1回のモニタリング面談を実施している。また、必要に応じて年度途中の計画の見直しにも対応している。	
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	○			ガイドラインを基に、全体のプログラムを組み立て必要に応じて個別での対応も行っている。	
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		○		相談支援事業所とは、定期的に情報の共有をしている。	今年度関係機関が集まる担当者会議を開催していない。今後、必要に応じて、自らが積極的に声をかけ担当者会議を開催していくことも検討する。
㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○			基本的には、保護者を通して、情報共有をしている。	

関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	②②	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			○		医療的ケア児の受け入れは行っていない。今後も、受け入れ予定はない。	
	②③	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている			○	対象児童がいなかったため行っていない。今までは、児童発達支援センターの担当と引継ぎを実施していた。	児童発達支援センターとは引継ぎを行っているが、該当の保育所や幼稚園とは情報共有を行ったことがないため、今後対象児童が出た場合は、積極的に連絡を取り情報共有ができるように努める。	
	②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			○		在籍児童が小学生であり、卒業生はまだいないため、移行時の支援内容の引継ぎ等を行ったことはない。	
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている			○		研修時間の都合で参加することができていない。今後、研修を受ける機会があれば受講していきたい。	
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある			○		周辺にそのような機関がない。また、現在はやり取りをしている場所もなく、関係性の構築が今後の課題として考えている。	
	②⑦	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している			○		参加はできていない。児童発達センター主催の連絡会などには参加している。	
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○				送迎時の引継ぎや連絡ノートにて、児童の成長や課題について伝え合っている。	必要に応じて電話やメールを介して、児童の状況や家庭の悩み等の相談にも応じ、共通理解をするように努めている。また、助言も積極的に行っている。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			○		保護者勉強会を開催し、保護者と将来のイメージの共有を図った。	保護者勉強会を開催することはできたが、ペアレント・トレーニングの支援をすることができなかった。まずは、勉強会を定着させ、その後ペアレント・トレーニング支援も検討していく。
	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				利用契約時に、契約書、重要事項説明書、その他書類に基づいて対面での説明を行っている。	
③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○				日々の連絡ノートでの相談だけでなく、送迎時、面談時等に家庭の様子を伺い必要に応じて、助言や支援を行っている。		

保護者への説明責任等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		保護者勉強会を開催し、ライフステージ毎の役割や今後の将来像についてのイメージの共有ができるよう努めた。	保護者同士の関わりを深められる時間をとれなかったため、今後は機会の提供に努めたい。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			利用契約時に、苦情解決受付担当者、責任者の設置について対面で説明をしている。	
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			定期的に、活動の予定や活動の様子が分かるようなおたよりを配布した。	
	③⑤	個人情報に十分注意している	○			利用契約時に配布している、個人情報使用同意書、写真掲載承諾書に基づいて使用をしている。	
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			児童とのコミュニケーションに関しては、それぞれが受け取れる方法でやり取りを行っている。保護者とは、できる限り対面でのやり取りを心掛け、必要に応じてメールや電話で日々の情報を共有できるようにしている。	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○		地域柄周辺に地域住民がおらず招待することが難しい。また、事業所の規模も大きくないため検討が必要。
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		緊急時対応マニュアルを策定し、利用契約時に配布している。	事業所初回の契約時のみ配布しているため、今後は利用契約更新の度に配布し、保護者にもマニュアルの内容の理解を深められるように工夫する。
③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			年2回、事業所内で火災・地震を想定した避難訓練を実施している。また、代表の職員は年2回、ビル全体の避難訓練にも参加をしている。		

非常時等の対応	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			法人内で虐待防止研修を実施し、全職員受講している。研修内において、事業所の支援の見直しを考慮する時間も設けている。	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			審議記録、やむを得ず身体拘束を行うことについて記載した書類を法人に提出し、承諾を受けている。また、個別支援計画にも記載し、面談時に保護者にも説明書を用いて丁寧な説明するよう心掛けている。緊急やむを得ず身体拘束を行った際には、サービス提供記録、ケース記録にも残す手順をとっている。	
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		アセスメントシートを用いて、保護者より情報収集している。調理活動や初めて提供するおやつ等があった場合には、事前に保護者にお知らせを配布・確認し個別での対応をしている。	アレルギー対応は行っているが、医師の指示書に基づいての対応は行っておらず、保護者から対応の仕方等を伺っている。今後、必要に応じて医師の指示書をもらい対応を検討していく。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			事故発生後、事業所内の関係者で速やかに会議を行い事故時の分析を行っている。会議の内容に関しては、報告書にてまとめ、再発防止に努めている。報告書作成後は全職員への回覧、回覧後はいつでも閲覧しやすいようにファイルにて保管、共有している。	

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果 (公表)

公表:令和 6年 3月 27日

事業所名 療育支援ルーム ポンデイ 保護者等数(児童数)15人 回収数 13 割合 86 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	10	3		・人数が増えたのか、仕切りのせいか少し窮屈そうに正直見える ・活動している様子を見に行けていないので、判断し兼ねる	活動室内の仕切りは活動の内容に合わせて開閉しております。 現時点では場所の拡大の検討はありません。今の事業所の広さで安全に楽しい活動が提供できるように、工夫していきたいと思えます。
	②	職員の配置数や専門性は適切である	11	2		・活動している様子を身に行けていないので、判断し兼ねる	活動の様子を見ていただく機会を作れるよう努めます。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされている	12	1		・確認したことがないのでよくわからない	
適切な 支援の	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されている	13				
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	13				

提供	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	6	3	・特に必要とも思っていないので良い ・あまり聞かないのと、希望もしていません。	周辺の環境に交流できる施設はありませんが、地域に出て活動を行うことも検討していきます。
	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13				
保護者への説明等	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができている	13				
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	13				
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	8	5		・参加したことがないので不明	勉強会や茶話会などの開催を検討し、保護者同士の関わりが持てる場を提供できるようにしていきたいです。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	11	2		・そういう状況を知りません	今後、苦情をお受けした際には迅速な対応を心掛けます。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	13				



	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信している	12	1			
	⑭	個人情報に十分注意している	13				
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されている	9	4			契約時にご説明させていただいております。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	12	1			年2回、事業所内で火災と地震を想定した訓練を行っています。また、代表の職員のみでは年2回、ビル全体の総合訓練にも参加しています。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしている	11	2		・頑張っている ・毎日クタクタになって帰ってきています。体力の限界まで楽しく過ごしているからだと思います。本人に聞いてもニコニコしています。	今後も引き続き、子ども達と楽しみながら療育を行っていただけるよう努めます。
	⑱	事業所の支援に満足している	13			・いつもありがとうございます。 ・大満足です ・細かいところまで支援頂いて有難いです。本人も通所を楽しみにしています。	学校やご家庭などの関係機関と連携をとりながら、子ども達の支援に努めてまいります。また、勉強会や日々の連絡を通して保護者の皆様へ情報提供を行います。今後も、引き続きご家族の支えとなるよう努めてまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス自己評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。